



おかやま環境ネットワーク

NO.56
2010.5.15

NEWS

発行:(財)おかやま環境ネットワーク
〒700-0026 岡山市北区奉還町1-7-7
TEL/FAX 086-256-2565
E-mail:kankyounet@okayama.coop
HP:http://www.okayama.coop/kankyounet/

2009年度の事業報告 多くの方にご参加、ご支援いただき、ありがとうございました。

2008年度下期より、組織運営や、全ての事業について見直しをすすめました。また、事業実施にあたり、目的、対象、予算、共催、助成等について抜本的な見直しのもとすすめ、行政をはじめ、様々な団体等との協力がすすみました。

1. ネットワーク・広報・研究事業

- ①維持会員総会：岡山大学長・千葉喬三氏、岡山理科大学教授・野上祐作氏の記念講演と展示
- ②ホテルフォーラム：ホテル委員会年3回開催、第7回ホテルフォーラムを開催
- ③環境家計簿の普及（環境家計簿委員会）
 - ・登録者294名、有効データ提供者132名、新規登録者24名
 - ・2008年の二酸化炭素排出量は前年比2.9%削減
 - ・啓発ツールとして「環境家計簿レポート」「環境家計簿カレンダー」を発行
 - ・モニターの報告帳票類等を改善
 - ・「グリーン家電エコポイント事業」「住宅エコポイント事業」の寄附対象に採択
 - ・学習交流会『家庭でできる省エネ・くらしの工夫』を開催
- ④第一回おかやま環境シンポジウム：瀬戸内海の再生をテーマに、アマモをキーワードに開催
- ⑤広報：「ネットワーク・広報部会」で検討をすすめるニュース等を改善、自然環境部会で「自然環境おかやま」を発行、ロゴマークを公募で決定

2. 啓発事業

- ①環境講座：9～3月までの7回シリーズで開催
- ②テーマ別講座
 - ・第1回：『観て、聴いて、学ぼう5R』明和製紙原料、岡山エコタウン工場見学
 - ・第2回：『温暖化の現状と、私たちが取り組むべき目標』気候ネットワーク代表・浅岡美恵氏講演会
 - ・第3回：『エコロジカル・フットプリント』元岡山大学・白井浩子氏講演会
- ③ファミリープログラム
 - ・アースデイファミリープログラム：『由加山の自然を学び、児島の海を楽しむ』を開催
 - ・エコファミリー講座：『家族でのと原の自然を体感し、生きものに触れ、実体を調べる』を開催

3. 助成事業

- ①第10回助成活動報告会「岡山の自然とくらしを見つめて」を開催
- ②2009年度は11団体に93万円、2010年度は10団体へ93万円助成

4. 年度別事業実施数と参加人数の推移

年度	事業数	参加人数
2008年度	9	491
2009年度	12	766

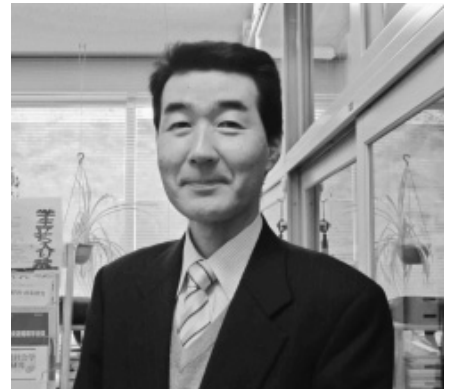
5. 会員の状況

会員総数229となり、前年より4会員増えました。
※詳しくは「第9回維持会員総会資料」をご覧ください。

No.56の内容

- I. 『2009年度事業報告』P.1
- II. 寄稿『循環型社会のイメージは?』井勝 久喜.....P.2
- III. 寄稿『環境を知るといこと・考えること』平田 まき子.....P.3
- IV. 団体会員紹介『おかやまエコマインドネットワーク』播本 博子.....P.4
- V. 法人会員紹介『生活協同組合おかやまコープ』榊 誠司.....P.5
- VI. 『ネットワークのつどい・報告会』ご案内P.6
- VII. テーマ別講座『ホテルをとおして自然環境を考える』ご案内P.7
- VIII. 『2010年度事業報告』・理事会報告P.8

井勝 久喜 「循環型社会」のイメージは？



「循環型社会を作ろう」とか、「3Rを推進しよう」という言葉を聞いたことがあると思いますが、このフレーズで多くの人が思い浮かべるのは、「リサイクル社会」ではないでしょうか。「循環」と聞けば「めぐる」という言葉を想像し、「循環型社会」といえば「リサイクル社会」を思い浮かべるのは当然だと思います。また、「3R」で思い浮かべるのは、固体の廃棄物だと思いますが、廃棄物は固体だけでなく、気体、液体、廃熱などがあります。これらは、そのどれもが、エネルギー、資源、食糧、水、有機資源に関係しており、固体の廃棄物だけリサイクルしても循環型社会はできません。

実は、循環型社会形成推進基本法における「循環型社会」の定義では、「循環」が目的ではなく、天然資源の消費が抑制され、環境への負荷が低減された社会を作ることが目的となっています。

井勝 久喜 氏

1956年生まれ。鳥取県出身。吉備国際大学国際環境経営学部・学部長・教授。環境省登録環境カウンセラー（市民部門）。(財)おかやま環境ネットワーク評議員。

従って、この定義からすると循環型社会はリサイクル社会のことではありません。循環型社会の真の目的は、脱化石と省資源であり、枯渇性資源の循環利用による枯渇の回避、循環資源の持続可能な利用などを通じた人間生活の豊かさの向上と継続にあります。しかし、「循環型社会」と聞いて、「持続可能な社会」を思い浮かべる人はほとんどいないと思います。

環境問題ではこのようなことがよくあります。例えば、地球温暖化防止についても、二酸化炭素の削減が目的化してしまっていますが、本当は資源消費を押さえた持続可能な社会を作ることが目的でなければなりません。少し考えれば、おかしいと言うことが分かるのですが、なかなか理解することが難しい状況です。「3Rを推進しよう」と聞いて、「リサイクル」を思い浮かべる人はいても、「資源の節約」を思い浮かべる人は少ないのではないのでしょうか。また、循環型社会の指標としてリサイクル率などが示されることがありますが、真の循環型社会とは何かと言うことを考えたとき、適切な指標とは思えません。というより、リサイクル率を示すことで、「循環型社会」＝「リサイクル社会」という誤解を与えてしまっている

ように思えます。

これらのことは、使われている用語（誤解を与えそうな）の問題と共に、あまりにも単純化した説明が行われてきたことに問題があるように思えます。環境問題について市民に注意を喚起するためには、地球温暖化や環境ホルモン、リサイクルなど分かりやすい報道や伝え方も必要でしょうが、そのことが、かえって環境問題の解決を遅らせている可能性もあります。そろそろ真の環境問題解決、つまり、持続可能な社会を作るためには何が必要なのかについて、丁寧に伝える努力をすることが必要でしょう。

ブータン王国では、GDP（国内総生産）ではなく、GNH（グロス・ナショナル・ハピネス／国民総幸福）の向上を目指して国の政策が行われています。心豊かな人間らしい暮らし、自然と共生した人間社会、貧しくない経済社会を維持しつつ環境にも負荷をかけない社会システム、弱者に配慮した持続可能社会、これらを総合的に判断する指標を考え、その指標を基に多くの人が議論できるような仕組みを考えることが必要な時期に来ているのではないのでしょうか。

平田 まき子

「環境を知ること

・考えること



私と「おかやま環境ネットワーク」との出会いは、元上司であった野上先生の紹介でネットワークの「環境講座」を受講した時である。この講座は、身近な問題から法律全般まで幅広く取り上げ、複雑に絡み合う環境問題の難しさを改めて実感させてくれた。日頃、あまり気にしていなかったことでも、改めて浮き彫りにし、考えてみようという気にさせてくれた。また、それを受講している方々の真剣さにも驚いた。

私は、職場で上水や排水の分析に携わっているが、時々刻々改正される法律への対応を迫られて続けてきた。測定項目は増える一方で、規制値も徐々に厳しくなってくる。新たな測定機器がなくては測れないものも増えている。科学が進歩すればするほど、昔、わからなかったことがわかるようになってきたし、正解とまでとはいえ

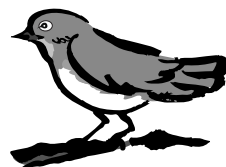
なくても、それなりに説明が出来るようになってきた。

しかし、色々なことがわかるようになればなるほど、新たな疑問が沸いてくる。理解しようと思ってもなかなか追いつかない。もっとシンプルに考えないと私の頭は破裂するのではないかとも思われてくる。それでも、講座の受講者の多くが地球の未来を憂えているのだといたく感心させられたし、「エコロジカルフットプリント」なんていう言葉も初めて知った。知らないことは沢山ある。でも、どのような状態がベターなのかが私にはわからない。

今の大学生の中には、ホースポンプ、俗に言う灯油ポンプというもの知らない人がいる。年を追うごとにそんな学生が増加中。考えてみれば、生活はエアコン・電気が主流であるから、スイッチを押すことはできて自分が動力となってポンプを動かすという経験はない。マッチをすれない子供も多いとか。今の子は、教えられないと自然に経験するチャンスがな

い。そんな子供たちに、自然がどうの、環境がどうのといっても理解できないのではないかと環境に関する知識の生かし方が空回りしないようにするにはどうすればよいのか。生活の便利さと環境問題との関係を考え直す必要があるのではないかと。便利さと科学の進歩とは別にしなければいけないと思うけれど…。地に足のつかない知識が空回りをしているようにも見える。

私の職場には、幸いなことに緑が多い。ここ数年、メジロなどの鳥がよく飛来する。サザンカの蜜が目当てのようだ。サザンカは、ずいぶん前から植えられているが、鳥が来るようになったのは、ここ数年である。鳥たちに何が合ったのかはわからないが、なぜかメジロが窓ガラスに激突してくるのである。このような環境の変化に対応できる考え方を常日頃から持ちあわせたいと思っている。



平田 まき子氏

1954年生まれ。

(学)加計学園・水質管理室勤務。

(財)おかやま環境ネットワーク評議員。

播本 博子〔代表〕

おかやまエコマインドネットワーク



おかやまエコマインドネットワークは岡山県が主催する環境学習リーダー養成講座から平成11年に発足しました。地域に環境の意識(マインド)を広げることで温暖化防止活動に寄与することを目指して結成された環境ボランティア団体です。

活動は岡山県南東部を中心に環境イベントの出展や企画、幼児～大人までの様々な年代を対象とした環境出前講座や環境啓発ツール(環境かるた・環境すごろく)の開発をしました。また市民の目線にたった環境行動の提案を講演会、ワークショップやエコツアー等とおして行っています。 会員数43名
※平成21年度

環境おかやま大賞受賞

◇「岡山発！環境かるた五七五」



平成19年度作成

「ひろいけどだれのものかなあのもらば」

赤磐市(旧吉井町)の児童・生徒が作った環境川柳に会員らが思いを込めて手書きの絵を描き、はがき大の環境かるたを作成しました。このかるたをA4判に拡大したものに背負い紐をつけて、かるた鬼ごっこをして遊びながら環境意識を育てるツールとして活用しています。

学童クラブは今までに10校で実施しました。

◇「岡山版環境すごろく生態系」



平成20年度作成

岡山に生息する貴重な生き物や植物を知ってもらい、自然について考えるきっかけづくりのツールとして遊びながら環境意識を身につけ、ワークショップで生き物のつながりを考えていきます。大判すごろくは畳3畳ほどもあり、子どもたちは自分自身が駒となり止まったところのクイズに答えながら進んでいきます。平成21年度の「全国都市緑化フェア」の西大寺会場で実施、各地のイベント会場で実施し、もりあがりました。

◇岡山市ESD活動

～中高生のレジ袋意識から～

岡山ESD活動の一環として平成20年度岡山市内約1,350名の中高生のレジ袋に関する意識調査から、何らかの働きかけがあればレジ袋は断ると答えた人が約90%を占めました。

平成21年度はこのことからレジ袋への意識付けとなるツールとして、生徒に旗のデザイン・キャッ

チコピーの募集を呼び掛け旗を作成しました。その旗を岡山市内のコンビニ9店舗に掲げました。若い人に環境問題に関心を持ってもらい、自分にできる範囲で行動に移せることに気づきできた成果がありました。

◇生ゴミたい肥化活動

私たちの生活ゴミの中で大半を占めるのが生ごみで、少しの工夫で減らすことや資源化にできるのではないかと取り組みを始めました。平成20年度～21年度にかけて「エコちゃん」を使った実証実験を備前県民局と協働事業としてまとめ報告書にしました。その結果、市民一人一人のたい肥化活動には限界があることに気づき、行政とともに活動することで生ゴミたい肥化や資源化が広がることを確信し、ゴミの焼却をはじめとする処理について見える化(LCA)について学習を深めていこうと活動をすすめています。

◇事務局

〒703-8267

岡山市中区山崎115-8

行枝学方

☎ (086) 276-1621

播本 博子 氏

おかやまエコマインドネットワーク代表。岡山県地球温暖化防止活動推進員。岡山県自然保護センターボランティア。エコロジー東備代表。備前市在住。

榊 誠司〔組織本部長〕 生活協同組合おかやまコープ



おかやまコープは1956年に設立された生活協同組合で、岡山県内の4割を越える31万世帯が加入する県下最大の消費者組織です。

宅配事業（班配と個配）と店舗事業（県下12店舗）で食品や日用品などを供給する購買事業を中心に、CO・OP共済「たすけあい」や「あいぷらす」などの共済事業、訪問介護やデイサービスなどの福祉事業を行っています。品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001の取得や商品トレサビリティの取り組み、「食の安全総合政策」の策定とその実践などを通じて、安全・安心な商品の提供や生産者の顔の見える産直事業、循環型農業の応援などを含めた地産地消を推進しています。

また、組合員活動では、商品の学習や生産者、産地との交流などの商品運動、食育をすすめる「たべる・たいせつ」活動、社会保障や税金などくらしの安心を守る活動、核兵器と戦争のない平和な世

界をめざす活動、ユニセフやAMDAへの支援をすすめる国際協力支援活動、「子育てひろば」などの子育て応援活動や組合員どうしで支えあう「コープくらしの助け合いの会」の活動、そして、様々な環境保全活動など、「わたし発」を大切にした自主・自発の多彩な組合員活動に取り組んでいます。

また、関連会社のコープP&Sでは、旅行・飲食・フィットネス事業の他、葬祭や保険などの斡旋事業を行っています。

おかやまコープの環境活動は、身近なところから生まれ、牛乳パックの自主回収から始まったリサイクル活動やマイバッグ運動、環境測定活動などへと広がってきました。

2009年度は、CO₂削減のくらしのきっかけとして「ライトダウンキャンペーン」に取り組みました。

また、行政や諸団体と協力し「エコチャレンジ」「キッズエコチャレンジ」「電気ダイエットコンクール」など様々な省エネ活動が暮らしている身近なところで広がっています。

事業では、電気やガス、配送車両燃料などの使用量を削減する取り組みでCO₂排出の抑制に努めています。夜間の節電対策や節電装置の設置、省エネ機器の導入、配送車両の燃料に、BDF（リサイクルされた廃食用油などの生物由来油から作られる燃料）のトラックの試験運用も始めました。また、エコドライブの徹底や配送コースの効率化などを行っています。

おかやまコープの理念のもと、事業と活動を推進し、安心して暮らせる地域社会の実現に貢献できるよう役割を發揮していきたいと考えています。

おかやまコープの理念

- * 思いやりの心でつなぐ人間らしいゆとりあるくらしの創造
- * 参加・自主・自立で学び成長する多数者組織の実現
- * 協同と連帯がはぐくむ組織と地域社会の発展

榊 誠司 氏

生活協同組合おかやまコープ
組織本部長。
(財) おかやま環境ネットワーク
専務理事。

(財)おかやま環境ネットワーク

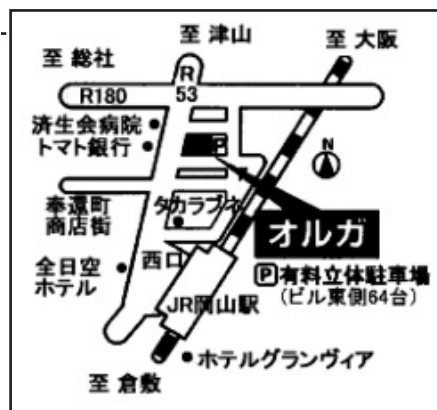
『ネットワークのつどい・報告会』のご案内

県下の環境と環境に関わる活動について、語り、考えましょう!
どなたでも参加できます! 皆様どうぞお気軽にご参加ください!!



- 開催日:6月5日(土) 13時~16時
- 会場:オルガホール(岡山市北区牽還町1-7-7)
- 定数:100名(定数を超えた場合は抽選、抽選にもれた方の方のみご連絡します)
- 参加費:無料、必ず事前にお申しください

- ◆プログラム(予定) 12:30~ 受付開始
- 13:00~開会挨拶(青山勲理事長)
- 13:05~助成活動報告
- ◆みゅーじがる劇団きんちゃい座ミュージカル上演
- ◆中学高校環境研究会発表報告...若林大喜氏
- ◆児島湾水圏研究会発表報告...奥田節夫氏
- 14:00~おかやま環境ネットワーク事業・計画・決算報告
- 14:20~会場内展示閲覧交流(ポスターセッション)



伝えたいことや自分たちの活動を掲載したポスターをもとに来場者に説明したり、質問を受けるなどのやりとりを通し、直接伝える場とします。

展示される団体は来場者へのPR、情報交換を行なってください。ネットワークを広げましょう。

14:50~交流会

グループを①自然保護、②エネルギー・廃棄物、③調査活動の3テーマ(予定)に分け、グループ討議を行います。グループ運営はおかやま環境ネットワークの役員が担います。

●会場内パネル・ポスター展示団体も募集中です。この機会に貴方の団体のいろいろな活動を紹介してください。

●申込:下記の申込書に必要事項を記入の上、5月31日までに、FAX・郵送・E-mailでお申しください。

※詳しくは、お気軽に下記事務局までお問合せください。

(財)おかやま環境ネットワーク 〒700-0026 岡山市北区牽還町1-7-7

Tel・Fax:086-256-2565 E-mail:kankyounet@okayama.coop

HP:http://www.okayama.coop/kankyounet/

きりとり

(財)おかやま環境ネットワーク『ネットワークのつどい・報告会』参加申込書

フリガナ 氏名		電話	
住所	〒		

ホテルをとおして自然環境を考える

講師:梶田 博司 氏

魅力的な「ホテル」の生態を学び、ホテルが生息するすばらしい自然環境について考えます。多様な生きものから数多くの恵みを与えてもらい、人間を含め生きものみんなの「命」を支えています。ホテルの一生について勉強すると、その生息環境を守っていくことの大切さがわかります。

今回のテーマ別講座では、私たちの暮らしに身近な自然を理解し、その大切さについて考える機会を設けようと、標記の催しを計画しました。

多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

参加者募集

- ◆日 時：2010年7月2日(金) 10時～12時
- ◆会 場：オルガホール
岡山市北区奉還町1-7-7
- ◆定 員：150名
- ◆申 込：6月18日(金)までにお申込ください。
- ◆参加費：おかやま環境ネットワーク会員・おかやま
コープ組合員は無料、一般500円
- ◆主 催：(財)おかやま環境ネットワーク
生活協同組合おかやまコープ



- ◆講師:梶田 博司 氏
川崎医療福祉大学・医療福祉マ
ネジメント学部教授。野生動物、
特に夜行性動物の生態の専門家。
日本ホテルの会会員。ナショナル
ジオグラフィック写真コンテスト
2000国内優秀賞他、多数受賞。



お申込・お問合せは
(財)おかやま環境ネットワーク
〒700-0026
岡山市北区奉還町1-7-7
Tel・Fax:086-256-2565
E-mail :kankyounet@okayama.coop
HP :http://www.okayama.coop/kankyounet/

きりと

(財)おかやま環境ネットワーク『ホテルをとおして自然環境を考える』参加申込書

フリガナ 氏 名		電 話	
住 所	〒		
E-mail		F A X	

2010年度の事業計画

2010年度は、COP15の内容を踏まえた温暖化対策のさらなる強化が求められます。さらに生物多様性条約締約国会議が10月に名古屋で開催され、持続可能な社会に向けた環境の取り組みが広がる年となります。

そこで、おかやま環境ネットワークでは、2009年度見直しをすすめた、組織・事業の再構築についてその定着を図り、持続可能な社会に向けて多様な環境活動を推進します。

また、新公益法人制度対応の具体的な準備をすすめます。

1. ネットワーク事業

- ・「ネットワークのつどい・報告会」
交流強化を図るため、助成報告、総会、交流事業として開催します。
- ・「ホテルフォーラム」
交流と活動の前進を図ることを目的に、ホテル団体交流会（年3回）と、第8回ホテルフォーラムを開催します。また、フォーラムの成果を踏まえた単行本「岡山のホテル（仮称）」を発行します。
- ・広報
ニュース、ホームページ、メールニュース等、2009年度改善したことの定着を図ります。
- ・環境家計簿活動の普及
環境家計簿の普及を通じ、持続可能なくらしの見直しを図ることをめざします。モニター実務の改善や、環境家計簿レポート、環境家計簿カレンダーを発行し啓発につなげます。
- ・「第二回おかやま環境シンポジウム」
地域の環境・産業の現状を語り合い、今後の地域づくりの手がかりを探ります。顔の見える関係をつくることをめざします。

2. 啓発事業

- ・環境講座
専門の講師陣による基礎を系統的に学べる講座として開催します。より多くの参加をめざし募集強化を図ります。
- ・テーマ別講座
生物多様性等、時々話題に応じたテーマで企画します。
- ・ファミリープログラム
次世代を担う子どもを含む家族を対象に、「自然にふれ、楽しんで、環境を考える」ことを目的に、アースデイ企画、エコファミリー講座（キャンプ）を開催します。

3. 助成事業

- ・県内の環境団体の育成と環境問題の研究に対し、財政的な支援を図ります。
- ・これまでの助成活動の成果をまとめた「助成報告集」の発行に向けた準備をすすめます。

4. 法人管理・会計・収支予算等

- ・新会計システムの検討
新法人移行に適応した新会計システムの検討をすすめます。
- ・新法人移行に向けた準備
事業の再構築、定款・規則の整備、役員・組織体制の確立、申請書類等の準備をすすめます。
- ・収支均衡
衣笠基金事業（「岡山のホテル（仮称）」や「自然環境おかやま」の発行関連事業）を除き、収支均衡をコントロールします。

.....
 2010年度会費をまだ納付いただいていない方に納入振込用紙を同封していますので、お振り込みお願いいたします。

かけがえのない地球、未来のこどもたちへ！

2月度理事会報告

4月17日に理事会・評議員会が開催され、以下の事項が承認されました。

1. 2009年度決算、会費納入状況、監事報告について原案通り可決、承認しました。企業会員の減少について意見が出され、今後、長期的な政策を検討していくことを確認しました。
2. 維持会員総会資料の概要を承認しました。
3. 役員改選について、評議員16名、理事17名、監事2名の選任を可決し、理事長に青山勳氏を、専務理事に榊誠司氏を選任しました。
4. 『ネットワークのつどい・報告会』について、維持会員総会、助成活動報告会、交流会の3点を併せ持つ交流企画として6月5日に開催することが承認されました。
5. 総会のあり方の変更に伴い「維持会員総会規則」改正を可決しました。
6. 環境講座について、受講料を無料とすることなどの参加者増につながる改善を図り実施することが承認されました。
7. エコファミリー講座について、7月24日～25日に鏡野町のとる原キャンプ場にて実施することが承認されました。
8. 新公益法人制度への対応について、「主要項目の方向性（案）」をもとに今後の検討課題が承認されました。

■お問い合わせは
 (財)おかやま環境ネットワーク
 〒700-0026
 岡山市北区奉還町1-7-7
 TEL/FAX 086-256-2565
 E-mail:kankyounet@okayama.coop
 HP:http://www.okayama.coop/kankyounet/